

「ゲイが親になる」 北欧スウェーデンと選択ができる社会

国際医療福祉大学 乃木坂スクール様

#04 前例を超える前例を創る

～ドラマティックな人生を経験したからこそその視点で～

2022/11/16



今日のテーマ

「ゲイが親になる」北欧スウェーデンと選択ができる社会

①みつつんの経歴・選択

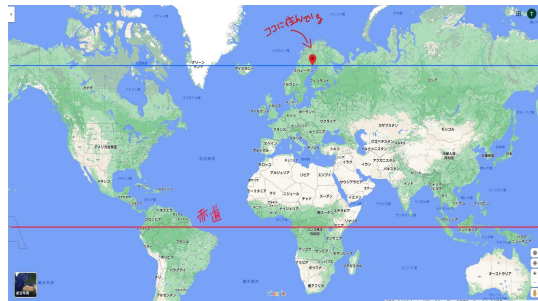
②発信する力

③選択肢がある社会へ

①みつつんの経歴・選択

みつつん (ブLOGGER・YouTuber)

- スウェーデン・ルレオ在住。
- 夫リカ、6歳の「息子くん」と3人家族。
- 「ふたりぱぱ」ブログやYouTubeチャンネルを運営。
 - LGBTQの権利
 - LGBTQの子育て
 - 生殖補助医療(サロガシー/代理母出産)
 - スウェーデンの文化・暮らし
 - 性教育

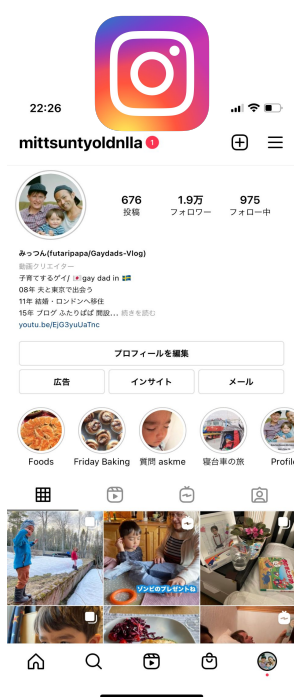


名古屋～東京～ロンドン～ルレオ

- 1980年 名古屋市千種区生まれ
- 2004年 文学座附属演劇研究所 入所
- 2008年 リカと出会う
- 2011年 結婚・ロンドンへ移住
- 2015年 ブログ「ふたりぱぱ」開設
- 2016年 息子くん誕生、スウェーデンへ移住
- 2019年 ブログが書籍化
- 2020年 YouTube 始動（現在19万登録者）

②発信する力

発信をはじめた理由



発信する中で気をつけていること

あなたが家庭を築く方法はひとつじゃない - 多様性の社会のために

多様性ということばが叫ばれる今日ですが、僕は“〇〇だから△△すべき”という言い方や考え方が苦手です。人の人生にはいろんな分岐点があって、それはひとそれぞれで、なにが正解だなんて言えないし、ひとつの枠しかないなんて窮屈でしかない。僕たちは子どもを持ちたいという強い希望があって、サロガシーという可能性や夢を持つことを選びました。ただあなたは違うかもしれない。パートナーと二人だけで幸せという方もいるだろうし、一生独身のほうが幸せだという方もいるでしょう。それもすべて含めてこれからくる新しい時代の『家庭像』でいいんだと思います。だから、サロガシーや子どもを持つことに興味がある方はもちろん、それに興味があなくても、このサロガシーの旅の景色が頭の端っこにちょこんと残っていて、あなたが将来サロガシーで生まれた子どもに会った時「そういう選択もあるのね」と心に秘めながら、微笑んでくれるような社会になればいいなと思いつつ、サロガシーの旅、出発したいと思います。

ブログふたりぱぼ はじめての方へ より一部抜粋

発信活動を通して得たもの

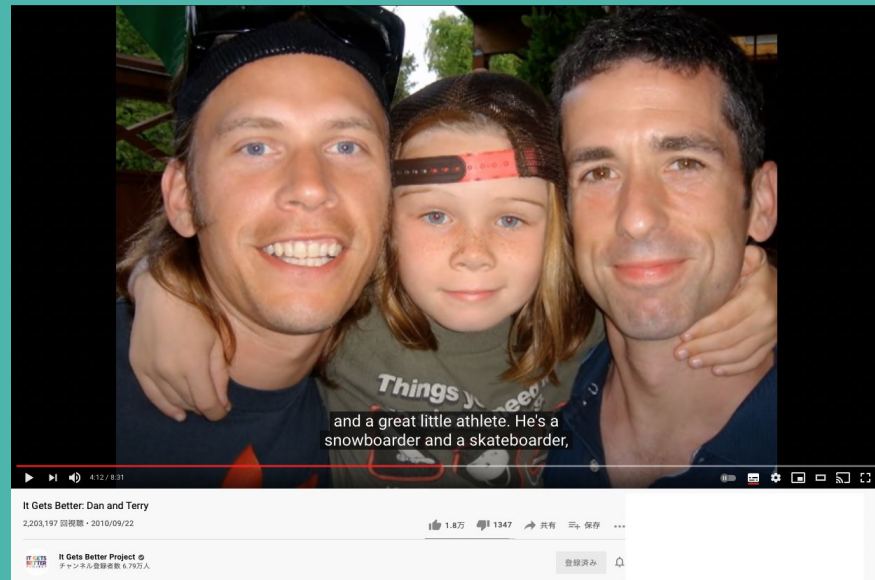
読者・視聴者さんからの感想やお手紙

- 子供を持つと動き始めたゲイやレズビアンのカップル
- 結婚や子育てというあたりまえのプレッシャーから解放されたというストレートの方
- 今までは偏見を持っていたが、動画を見て一緒じゃんって拍子抜けしたという方
- 中学2年生の性別違和を持つお子さんがいるお母様からのメール

It Gets Better Project

If you're gay or lesbian or bi or trans, and you've ever read about a kid like Billy Lucas and thought, "I wish I could've told him that it gets better," this is your chance. We can't help Billy, but there are lots of other Billys out there—other despairing LGBT kids who are being bullied and harassed, kids who don't think they have a future—and we can help them...

<https://www.youtube.com/watch?v=7lcVvvg2Olo>



"I wish I could've told him that it gets better"

Dan & Terry

③選択肢がある社会に気づく

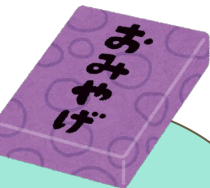
共感を持ってもらえた方に共通していたこと

『あたりまえ』に疑問を持った方

- 子供を持つと動き始めたゲイやレズビアンのカップル
- 結婚や子育てというあたりまえのプレッシャーから解放されたというストレートの方
- 今までは偏見を持っていたが、動画を見て一緒じゃんって拍子抜けしたという方
- 中学2年生の性別違和を持つお子さんがいるお母様からのメール

あたりまえってなに？

伝統



慣習

常識



一般的



普通

個人の感想です



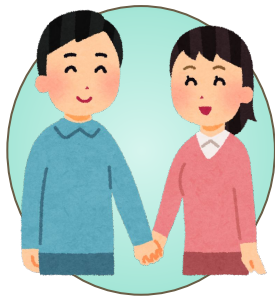
伝統は進化の結果



ルフィに扮装した市川猿之助。(c)松竹株式会社



伝統的家族ってなに？



ふたりぱぱによくある質問

- いじめられるの心配じゃない？
- 子供が混乱しない？
- 子供には母性が必要じゃない？
- 女の子の子供だったら、生理のこととかどう教えるの？
- 親権とかどうなってるの？



スウェーデン LGBTQの権利(主に同性愛者)の歴史

1979 - 同性愛が精神的な病気ではないとスウェーデン社会庁が認める。

1987 - 同性愛(後に、性的指向に変更)が差別禁止法の対象に加えられる。

1995 - 「事実婚」(サンボ)の導入。

2003 - 同性カップルが養子を迎えられるようになる。

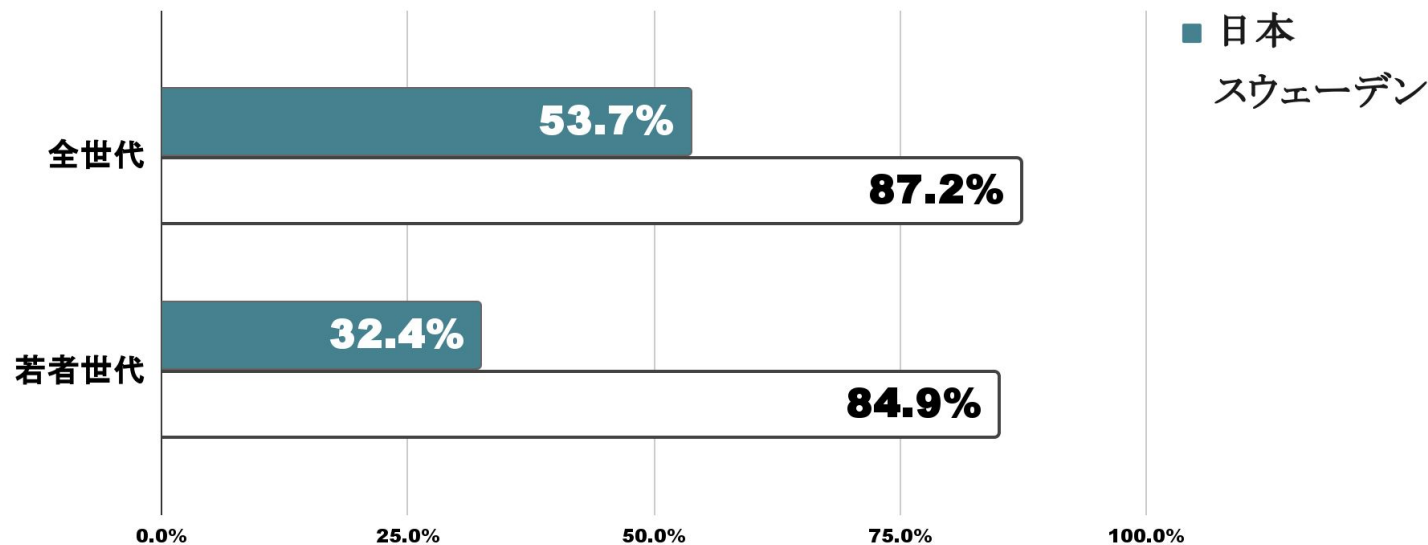
2005 - 人工授精と妊娠に関して、同性カップルに補助金を得る権利が認められる。

2009 - 同性カップルが婚姻法に含まれるようになり、同性婚が合法に。



参考資料: ぼくが小さなプライドパレード
ソフィア・ヤンベリ著
響田いづみ 訳
ミツイパブリッシング刊

国政選挙の投票率 (2018)



* 若者の年齢層 スウェーデンは18～29歳、日本は20歳～29歳

*日本のデータ: 総務省 https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/sonota/nendaibetu/

*スウェーデンのデータ: スウェーデン統計局(SCB) <https://www.scb.se/hitta-statistik/statistik-efter-amne/demokrati/allmanna-val/allmanna-val-valresultat/>

みなさんに伝えたいこと

- あたりまえの常識を疑うと、選択肢が増える
- 自分で選択したことは乗り越えられることが多い
- 選挙に行って、選択しよう
- It gets better

Tack så mycket!

ありがとうございました

ふたりぱぱ・みつつん



Q&A

画像クレジット

- <https://youtu.be/7IcVyvg2QIo>
- https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Sweden_from_cia.png
- いらすとや (<https://www.irasutoya.com>)
-